

門脇 健 専任講師

(金沢大学助教授)

真宗総合研究所

◇一般研究

◎「日本思想の歴史的総合的研究」

研究会

二月十三日(月) 教授会終了後

第二研究室分室1

「仏教的世界としての近世」

大桑 斉 教授

◎「近代における仏教の展開―清沢満之

の思想形成の研究と基礎資料の集成

―」研究会

三月一日(水) 午後四時

二五研究室(研究所内)

「清沢満之における華嚴経」

織田顕祐 専任講師

三月八日(水) 午後四時

二五研究室(研究所内)

「清沢満之の倫理学」

池上哲司 教授

「清沢におけるヘーゲル受容」

真宗学会

◇真宗学会例会

一月十日(火) 午後四時三十分

於 多目的ホール

「仏仏相念―諸仏の家」

博士課程一回生 星名 万美

「至心釈における内外明闇対の位置に

ついて」博士課程一回生 大神 栄治

仏教学会

◇卒業論文梗概発表会

一月十二日(木) 午後三時三十分

於 多目的ホール

発表終了後、学内食堂で送別懇談会を

持った。

宗教学会

◇秋期公開講演会

一月十三日(金) 午後四時十分

於 尋源講堂

言葉の形成力

講師 氣多雅子氏

社会学会

◇ワークショップ

二月三日(金)

於 志摩スペイン村

松村教授、滝口、高井助教授他、学

生約三十五名が参加。和気あいあいと

した雰囲気の中で相互に親睦を深めた。

大谷大学哲学会

◇談話会

二月十六日(木) 午後一時半

於 講堂棟三階 多目的ホール

「生活世界としての現代社会」

中西 康夫氏(MC.2)

「ナチズム」から「ハイデガー」へ

―「ハイデガー問題」が問いかけるもの―」

吉元 信曉氏(MC.2)

「仏教保育における課題」

金 元榮氏(MC.2)

「初期ニーチェにおける

形而上学と歴史性の問題」

西川 友和氏 (MC 2)
◇『哲學論集』第四十一号発行
(一九九五年三月十七日)

〈目次〉

教育における現代神話の崩壊

酒井 汀

万能感と無力の受容

病的賭博者の人格特性について

滝口 直子

道徳と客観性

道徳をめぐる実在論と反実在

論—— 渡辺 啓真

千年王国運動と歴史

—— バリッジとエリアーデの研究を

中心に—— 山本 和人

キェルケゴールにおける信仰のパラド

クス

—— 『おそれとおののき』研究——

三村 徹也

ヤスパースに於ける实在哲學的倫理學

の可能性について

神田 淳世

購入希望者には一部五百円で頒布しま
す(学内書店)。

国文学会

◇大学院研究発表会

三月十四日(火)午後四時より

於 第四研究室分室一

『老妓抄』を読む——悲華落葉

博士課程一回生 宗 晴美

中国文学会

◇中国文学会 學術公開講演会

一月十日(火)午後一時—

於 多目的ホール

『現代日本の漢字文化』

京都大学 阿辻哲次助教授

◇中国文学会 史蹟踏査行

二月二十八日(火)～三月一日(水)

南方熊楠旧居と記念館のほか、紀伊

田辺を中心に寺院を見学。

短期仏教科

◇『仏教研究紀要』第十七号発行。

一九九五年三月十八日。

〈目次〉

入衆言音—國際交流について—

大谷大学学長 訓覇睦雄
自己への旅立ち
仏教科主任 安富信哉

卒業研究要旨

卒業研究全文

不二の世界—『維摩經』を中心とし

て— 飯田 拓也

悪人成仏—『歎異抄』を中心として

— 小泉 さとみ

念仏の伝統—『正信偈』を中心とし

て— 相馬 悟子

大乘の精神—『維摩經』を中心とし

て— 遠衛 昭文

出世本懐—『正信偈』を中心として

— 西中 賢

悪人成仏—『歎異抄』を中心として

— 波多野 邦彦

不二の世界—『維摩經』を中心とし

て— 南野 義子

親鸞の宿業観—『歎異抄』を中心と

して— 山崎 泰子

右八編の他、卒業研究提出者全員

の研究要旨を掲載。

短期文化学科
短期文化学科

◇「大谷大学短期大学部・文化学科紀要」第二号発行。平成七年三月十日。

〈目次〉

文化に学ぶ

大谷大学学長

訓覇睡雄

卒業研究完成の喜び

短期大学部部长

藤田昭彦

『源氏物語』の音楽

—光源氏の音楽観—

平林弓子

安部公房『砂の女』論

井ノ口直子

古代出雲王国と荒神谷遺跡

平井典子

出雲大社の社殿と歴史的な背景

生田理穂子

唐詩における月

松井祐理子

カースト社会、インドにおける仏教の

平等思想

尾崎充康

日本と英国の家庭について

五井奈歩

映画に見るアメリカ女性の

生き方について

後藤早苗

先住民族を考える

—アメリカインディアンと

アイヌ民族—矢口展子

日仏のコミュニケーションギャップについて
近藤千久佐

バルザック『柵榴屋敷』の一つの読み方
尾山知恵

フランス人のスポーツ嫌いの真偽
花登祥文
右十二編の他、卒業生全員の論文要旨を掲載。

訂正

『大谷学報』第七十四巻第四号に左記の誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。

訂正箇所

欧文表紙 饅

正

is Kiyozawa Manshi ↓ in Kiyozawa Manshi

11頁下段14行目 (5)

↓

11頁下段21行目 (6)

↓

12頁上段3行目 (7)

↓

(8)